

図3 血糖および脂質などのコントロール指標

指標	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c (JDS値) ^{注1)} (%)	5.8未満	5.8～6.5未満	6.5～7.0未満	7.0～8.0未満	8.0以上
空腹時血糖値 (mg/dL)	80～110未満	110～130未満	130～160未満		160以上
食後2時間血糖値 (mg/dL)	80～140未満	140～180未満	180～220未満		220以上

日本糖尿病学会編：糖尿病治療ガイド2010. 25頁, 文光堂, 2010より

標準体重の維持	BMI 22前後
血圧	130/80mmHg未満
LDLコレステロール ^{注2)}	120mg/dL未満 (冠動脈疾患があるときは100mg/dL未満)
中性脂肪(早朝空腹時)	150mg/dL未満
HDLコレステロール	40mg/dL以上

注1) HbA1c値の国際標準化について

近い将来HbA1c値は現在のJDS値(日本糖尿病学会基準値)から国際標準値となるが、その場合はJDS値に一律に0.4%を加えた値となる。

注2) LDLコレステロールは、以下のFriedewaldの式で計算することが望ましい。

$$\text{LDLコレステロール} = \text{総コレステロール} - \text{HDLコレステロール} - \text{中性脂肪} / 5$$

ただし空腹時の中性脂肪値が400mg/dL以上の場合、「LDLコレステロール = 総コレステロール - HDLコレステロール」を用い、その場合の目標値は150mg/dL未満(冠動脈疾患があるときは130mg/dL未満)となる。